

社会・労働関係文献月録

・分類表は2005年12月号に掲載されています。
 ・収録誌の一覧は1991年6月号に掲載されています。
 ・掲載文献は研究所で閲覧・複写できます。所内での複写は有料です。なお、文書等（葉書・FAX・e-mail可）で申込みの場合は、複写料および送料実費で申し受けます。定期購読者に限り、複写料は割引させていただきます。

法政大学大原社会問題研究所編 ☎ 042-783-2305
 東京都町田市相原町 4342 (〒 194-0298) F. 042-783-2311

2006. 11. 1 ~ 2006. 11. 30 受け入れ分

(文献資料名) (著者名) (収録誌名) (巻-号) (月 号)
 *印単行書の場合→ (発行所) (判・頁) (刊行年月)

I 理論・一般

0. 総記

世界の少子高齢化と環境・人口問題	鳥飼行博	経済政策ジャーナル	3-2	06. 5
次世代育成支援の理念と動向	武石恵美子	季刊労働法	213	06. 夏季
特集 徹底検証 教育基本法「改正」案		クレスコ	64	06. 7
改憲問題と教育基本法「改正」(五十嵐仁) なぜ、男女共学条項は削除されたのか(橋本紀子) 国の教育支配で閉ざされる子どもたちの未来(堀尾輝久)				
特集 人口減少時代の地域開発 500号記念懸賞論文優秀賞		地域開発	501	06. 6
人口減少時代の地域開発について(寸田英利) 人口減少時代の地域開発(中川智之)				
*地球情報社会と社会運動	新原道信, 奥山真知, 伊藤守編	ハーベスト社	A5.435	06. 4
*安全衛生年鑑 平成17年版		中央労働災害防止協会	B5.574	06. 8
*厚生労働白書 平成18年版	厚生労働省監修	ぎょうせい	A4.535	06. 9

1. ジェンダー・フェミニズム・女性論

特集 いま、なぜジェンダーの視点が必要か		女も男も	107	06. 5
ジェンダー・バッシングを超えて(鼎談)(橋本ヒロ子 田代美江子 星恵子) 誰にも出番があり、やりなおしできる社会に(大沢真理) 働き方/暮らし方にジェンダーの視点を入れるということ(伊田広行) 強さや支配を求める文化は〈男らしさ〉へのこだわりと連動(伊藤公雄) 女性がエンパワーメントできる経済的、社会的政策が必要(堀内光子)				
既婚女性の配偶者の家事・育児参加要因について	中野あい	経済政策ジャーナル	3-2	06. 5
介護労働を評価する法理的検討	國松正義	立命館法政論集	4	06. 6
農村女性と男女共同参画社会の実現	林 未来	立命館法政論集	4	06. 6
特集 ジェンダーバッシング		あごら	305	06. 3
館長雇止め・バックラッシュ裁判(三井マリ子) 「ジェンダーバッシング」の歴史が問うもの(米田佐代子)				
グローバル・フェミニスト戦略の再構築に向けて	羽後静子	アソシエ	17	06. 6
少子化対策の上からも「男性の働き方の見直し」が必要です(インタビュー)				
後退する男女平等と地域社会	猪口邦子	季刊ヒューマン・アド	64	06. 6
特集 男女共同参画基本計画を検証する	海妻径子	社会運動	316	06. 7
第二次計画の策定とバックラッシュ(橋本ヒロ子) ジェンダー秩序の組み替えを(中島通子)				
女性差別撤廃条約選択議定書の調査制度	軽部恵子	桃山学院大学経済経営論集	47-4	06. 3
*ジュディス・パトラー	サラ・サリー著 竹村和子他訳	青土社	B6.309	05.12
*女の階段	日本農業新聞「女の階段」愛読者の会編	日本農業新聞	B5.249	06. 3
*ジェンダー型企業社会の終焉	中野裕治	文真堂	A5.212	06. 5

*女性のライフコースと住宅所有		家計経済研究所	A4.158	06.5
*近代市民社会におけるジェンダーと暴力	國重裕編	日本独文学会	A5.84	06.6
*ジェンダー白書 4 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”編		明石書店	A5.352	06.6
*ジェンダー・アイデンティティ	伊藤裕子編	至文堂	A5.288	06.7
*ジェンダーで読む<韓流>文化の現在	城西国際大学ジェンダー・女性学研究所編	現代書館	B6.221	06.8
2. 労働論				
途上国における家計の労働配分決定とリスク	伊藤高弘	アジア経済	47-6	06.6
*ナレッジワーカー トーマス・H.ダベンポート著	藤堂圭太訳	ランダムハウス講談社	B6.270	06.4
3. 労使(資)関係論				
<働くルール>とは何か	浅見和彦	人権21	182	06.6
5. 経営労務論				
*人事経済学と成果主義 樋口美雄, 八代尚宏, 日本経済研究センター編著		日本評論社	A5.238	06.6
6. 社会政策論				
日本における福祉社会の改革	広井良典	アジェンダ	未来への課題13	06.夏号
特集 世界に誇る日本の医療制度と少子高齢社会の課題		中小商工業研究	88	06.7
社会保障制度は国家安全保障の一環(坪井栄孝) 少子高齢化のもとの持続的な福祉システムの方向(田中きよむ) 少子化対策こそ究極の年金制度改革(樋浩一 篠原哲) 社会福祉を解体させる「小さな政府」路線(醍醐 聰)		社会福祉を解体させる「小さな政府」路線		
公共サービス改革法(市場化テスト法) 批判的解説	尾林芳匡	賃金と社会保障	1418	06.5.下旬
7. 社会保障論				
高齢者福祉制度の離陸期	中村律子	現代福祉研究(法政大)	6	06.3
8. 社会福祉論				
日本における自立支援と社会的包摂	福原宏幸	経済学雑誌(大阪市立大)	106-2	05.9
「障害者」の「自立」を支援することの意義は何か	岩崎晋也	現代福祉研究(法政大)	6	06.3
社会関係と信頼	鈴木 純	国民経済雑誌(神戸大)	193-5	06.5
地域福祉計画の現状と課題	森本佳樹	国民生活研究	46-1	06.6
*少子高齢社会の福祉経済論	田中きよむ	中央法規出版	A5.208	06.5
10. 労働科学, 人間工学				
特集 産業安全保健エキスパートの創造		労働の科学	61-7	06.7
産業安全保健エキスパート養成コースの意義(安福慎一) 産業安全保健分野のシステムインテグレータをめざして(永田久雄) 産業安全保健エキスパート養成コースの実績評価と今後の展開(酒井一博)				
11. 職業教育・訓練論				
*働くことを学ぶ	全国進路指導研究会編著	明石書店	A5.224	06.8

II 労働問題

20. 総記				
職場問題学習・交流講座への報告	志位和夫	前衛	808	06.8月臨時増刊
中国・広東省の労働市場と日系企業	宮本謙介	経済学研究(北海道大)	56-1	06.6
労務提供型委託の市場と雇用の環境	吉村臨兵	月刊自治研	561	06.6
日本における男女別の就業形態選択行動 山下裕歩, 金子治平, 杉橋やよい		神戸大学農業経済	38	06.3
多様化なんかじゃない! いま起きているのは雇用の劣化だ(座談会)	(田島恵一 豊泉則幸 高井晃)	連合	19-4	06.7
中国の平均賃金格差と地域格差	鐘 志	経済論究(九州大)	124	06.3
海外勤務者の賃金・年取	政経研究所	旬刊人事と厚生	1752~1753	06.6.7~6.17
*この給料, 契約と違うじゃん!	種本良彦	新日本出版社	B6.221	06.6
24. 労働時間				
危険な自律的労働時間制度(「日本版エグゼンプション」)	小川英郎	社会主義	527	06.7

特集	正社員の自由時間の使い方	日本労働研究雑誌	552	06.7
	副業をめぐる法的規制と労働者の私生活の自由(根本 到) 正規雇用者の生活時間(上田貴子) サラリーマンの副業(小倉一哉 藤本隆史) 有業者の余暇時間と健康投資(梶谷真也 小原美紀)			
	深刻化する長時間労働・違法残業の現状と実務課題	下川和男 労働法学研究会報	2383	06.6.15
	全店の時間外労働を調査・精算し、労働時間管理を抜本改革	磯 薫 労働法学研究会報	2384	06.7.1
25.	ホワイトカラー労働			
	日本版ホワイトカラー・エグゼンプションとメンタルヘルスをめぐる法的視点	石寄信憲 季刊労働法	213	06.夏季
26.	パート・派遣労働			
	非正規労働者に希望を!	鴨 桃代 アジェンダ 未来への課題13	06.夏号	
	派遣スタッフの人権軽視新たな「身分格差」につながる	中野麻美 月刊人材ビジネス	240	06.7
特集	非典型労働の現状と課題	世界の労働	56-6	06.6
	先進国比較でみた日本のパートタイム労働(大沢真知子) 日本のパート・派遣労働の現状と課題(戎野淑子) 労働時間の通算規定をめぐる課題(島田陽一) 請負・派遣労働者の拡大と若年層の技能形成(藤本 真) 欧州主要国における労働者派遣法の現状と課題(小嶋典明)			
特集	パートタイマーの組織化と処遇改善 労働組合が直面する課題	ビジネス・レーパー・トレンド	376	06.7
	パート組織化後の処遇改善(禿あや美) パート組織化と処遇に関する課題(本田一成) パートタイマーの組織化を考える(浅尾 裕) パートタイマーの組織化組合と未組織組合の実態比較(村杉靖男)			
27.	在宅・家内労働			
	派遣スタッフ縛る過剰規制 法律の抜本的な見直しが必要	小嶋典明 月刊人材ビジネス	239	06.6
28.	女性労働			
特集	はたらくことと健康への権利-自由市場の中の女性のからだところ	女たちの21世紀	46	06.春
	働く女性の心と体を壊す「使い捨て」企業社会(伊藤みどり) いま、働く女性のリプロダクティブ・ヘルス(インタビュー)(北田衣代 インタビュー: 本山央子)			
	日本の性差別賃金と同一価値労働同一賃金原則(シンポジウム)			
	(森ます美 屋嘉比ふみ子 浅倉むつ子)	社会主義	527	06.7
	企業社会における女性活用の課題(インタビュー)			
	(福沢恵子 インタビュアー: 中田正則)	賃金事情	2499	06.6.5
*好きを仕事に!	江國啓造, 山本のりこ, 平尾俊	雄山社	A5.201	06.1
*21世紀の女性と仕事	大沢真知子, 原田順子編著	放送大学教育振興会	A5.229	06.3
30.	若年労働			
	若者の就労問題	内田龍史 佐賀部落解放研究所紀要23	06.3	
	若者の就業支援政策の批判的検討	萬井隆令 社会科学研究年報(龍谷大)	36	06.5
	最近の海外情勢について(講苑)	佐野将司 中央労働時報	1057	06.6
	「フリーター」「ニート」をめぐる研究動向	亀山俊朗 部落解放研究	170	06.6
	*就職迷子の若者たち	小島貴子 集英社	B40.195	06.9
31.	中高年労働			
	団塊の世代の意識調査結果をみて 専門能力を活かす就労形態の工夫を	清家 篤 エルダー	28-6	06.6
	高齢者雇用	原 昌登 季刊労働法	213	06.夏季
32.	障害者労働			
	*発達障害者のワークシステム・サポートプログラムとその支援技法	高齢障害者雇用支援機構障害者職業総合センター職業センター	A5.138	06.3
33.	外国人労働			
	外国人労働者の国際間労働移動の要因	鎌田 修 経済政策ジャーナル	3-2	06.5
	*外国人研修・技能実習に関する成果事例集	第1分冊~第3分冊 国際研修協力機構	A4.3冊	06.3
35.	労災、職業病、健康問題			
特集	尼崎クボタ・アスベスト公害新局面	安全センター情報	329	06.6
	尼崎クボタ・アスベスト公害補償問題で当面の合意(片岡明彦) 尼崎市クボタ旧神崎工場周辺に発生した			

- 中皮腫の疫学評価 (車谷典男 熊谷信二)
 少子高齢化社会と通勤災害 山口浩一郎 週刊社会保障 2388 06.7.3
 職業がんの労災認定の限界と職業関連がん 池田直樹 労働法律旬報 1626 06.6.下旬
37. 勤労者意識
 Effects of job satisfaction and job prospects on employees' intrinsic motivation
 Alban A.E.Ahoure 六甲台論集 (神戸大) 52-4 06.3
- Ⅲ 労働運動
40. 総記
 特集 世界の社会運動の広がり学ぶ 社会主義 527 06.7
 若年雇用制度を撤回させた三百万人のデモ (松谷信) イギリスの年金・賃金問題と労働運動 (畑 隆) 韓国・民主労総の諸闘争と路線対立 (大畑龍次) 人間としての尊厳を保てる仕事と賃金を! (広木道子)
41. 労働組合・運動論
 特集 労働組合の果たすべき課題 電機総研レポート 314 06.5
 雇用, 組織, 賃金など電機連合を取り巻く環境変化 (電機総研) いま労働組合に求められるものは (佐藤厚) 労働組合活動の課題 (講演) (伊藤 実)
 *ひとのために生きよう! 団結への道 石川源嗣 同時代社 B6.198 06.6
46. 賃金闘争 (含 生活改善闘争)
 特集 春闘総括から次の一步を 月刊労働組合 495 06.7
 賃金デフレに歯止めをかけた (須賀恭孝) 底上げ, 格差是正で成果 (岩田幸雄) 全労働者対象の最賃協定締結 (石田輝正) パート共闘で組織化が前進 (田村雅宜)
 特集 春闘は「復活」したか? 国際経済労働研究 961 06.7
 2006年春季生活闘争の評価をめぐって (板東 慧) いよいよ山が動き始めたか? (前川朋久)
 「春闘報道」批判に反論する 稲葉康生 スタデイ 45-5 06.5
 春闘のマクロ経済的役割 脇田 成 連合総研レポートDIO 206 06.6
48. リストラ・雇用対策
 *民営化という名の労働破壊 藤田和恵 大月書店 B6.206 06.9
50. 政策制度闘争
 *損保労連政策・提言集 2007 (資料編) 損害保険労働組合連合会 A4.49 06.9
52. 労働組合と政治
 政党と組合は互いに独立した存在だが, 尊重し合い, 信頼感を育んだらいい (対談)
 (小沢一郎 高木剛) 連合 19-3 06.6
53. 労働組合と社会問題, 社会運動
 特集 M&Aと労働組合 国際産研 25 06.5
 M&Aの動きと労働組合の対応 (講演) (中條 毅) 企業組織の再編・M&Aと労働法 (講演) (土田道夫)
 特集 不公正な取引慣行是正に向けた労働組合の取り組み 労働調査 442 06.5
 公正な流通取引慣行の実現に向けたフード連合「プロジェクトR」の取り組み (弥富洋子) 不公正な取引慣行の是正に向けた全国農団労の取り組み (小川 宏) 家電流通における商取引改善に向けた電機連合の取り組み (柏木 勉) 労働問題としての不公正取引問題 (松井 健)
- Ⅳ 経営労務
60. 総記
 メンタルヘルスケアに対する企業・組織の法的責任 木下潮音 人事管理REPORT44-4 06.7
 *現代アメリカ企業の人的資源管理 伊藤健市, 田中和雄, 中川誠士編著 税務経理協会 A5.267 06.5
 *職業的使命感のマネジメント 岡本浩一他 新曜社 B6.123 06.6
61. 人事・労務管理
 経営戦略と人事戦略 廣石忠司 人事管理REPORT44-3 06.6
 管理職への移行期に求められるもの時代が変わっても変わらない原理・原則
 金井壽宏 関西経協 60-6 06.6

特集 成果主義人事 その真の狙いと企業の実践	専修大学経営研究所報	170	06.2
リクルートの人材マネジメント・ポリシー（講演）（工代将章）しごと基準の人事の実践（中島 豊）成果主義人事再考（講演）（廣石忠司）			
多様な事業環境にマッチした職種別賃金制度・評価制度	矢座正昭 労働法学研究会報	2384	06.7.1
* 伸びる会社の「人材派遣」活用・実践ガイドブック	吉本俊樹 ソフトバンククリエイティブ	A5.381	06.7
* 「問題社員」対応の法律実務 続	石井妙子 日本経団連出版	B6.244	06.7
62. 賃金管理			
特集 成果主義賃金の現状と課題	電機総研リポート	315	06.6
日本の成果主義賃金の現状と課題（笹島芳雄）「成果主義型賃金制度」は生計費をカバーしうる賃金水準を確保できるか（成瀬 豊）			
64. 定年制、退職金、企業年金			
雇用の構造変化と企業年金変革のための視点	清家 篤 企業年金	322	06.6
徹底した労使の話し合いで企業年金の維持発展を（対談）	（高木剛 加藤丈夫）企業年金	322	06.6
企業年金の減額・廃止訴訟と受給権保護	江口隆裕 企業年金	323	06.7
65. 福利厚生			
2006年 本誌第38回調査 福利厚生関連要求と妥結状況	旬刊福利厚生	1909	06.6.18
2006年6月現在 本誌調べ 民間企業の両立支援への法定外措置	旬刊福利厚生	1911	06.7.8
66. 教育・訓練			
外資の高業績企業における人材開発の仕組みを探る	松井義治 企業と人材	882	06.6.5

V 労働・社会政策

70. 総記			
* 戦後60年、正念場を迎えた雇用・労働分野の規制改革	関西社会経済研究所	A4.26	05.11
71. 雇用・労働市場政策			
ドイツにおけるパート・有期労働の法制度	川田知子 L R L	11	06.6
働き方の多様化と育児介護休業法の進展	川田知子 季刊労働法	213	06.夏季
男女ともに働きやすい職場と公正な処遇の確保をめざして	奥山明良 労働かながわ	640	06.6
* 失業のキャリアアカウンセリング	廣川 進 金剛出版	A5.230	06.6
76. 社会保障政策			
特集 公的年金における世代間格差問題をどう考えるか？	L R L	11	06.6
公的年金における世代間格差をどう考えるか（権丈善一）公的年金制度における世代間格差をどう考えるか（麻生良文）			
女性の就労と公的年金の世代間問題	丸山 桂 L R L	11	06.6
「福祉元年」の年金改革	土田武史 L R L	11	06.6
社会的排除としてのホームレス問題	笹沼弘志 アジェンダ 未来への課題13	06.夏号	
「障害者自立支援法」と「自己責任論」	尾上浩二 アジェンダ 未来への課題13	06.夏号	
保育財政	岸昌三 追手門経済・経営研究	13	06.3
グループホームと高齢者介護問題	和泉徹彦 改革者	551	06.6
地域ケアの確立をめざして（座談会）			
（小野寺雄次 東内京一 村井幸之進 清田啓子 司会：池田省三）	介護保険情報	7-4	06.7
特別養護老人ホームの経営分析（下）	宇野 裕 社会保険旬報	2281	06.6.1
診療報酬制度改革への一考察（上）	中村 洋 社会保険旬報	2283	06.6.21
改定介護保険法は、利用者、地域に何をもたらしているか	林 泰則 社会保障	407	06.夏
障害者の現場は今	立岡 暁 社会保障	407	06.夏
所得格差と社会保障制度	星野信也 週刊社会保障	2383	06.5.29
英国の就労支援給付	丸谷浩介 週刊社会保障	2385	06.6.12
年金改革後の老後所得保障	石田成則 週刊社会保障	2387	06.6.26
税制の課題と連合が考える税制のあるべき姿 公共サービス・公務員制度のあり方に関する考え方（講演）	大橋太郎 全開発	454	06.6

- 特集 生活保護自立支援プログラムの検討 賃金と社会保障 1419 06.6.上旬
 自立支援プログラムの作成, 実施とその課題 (池谷秀登) 生活保護における自立支援の展開の検証 (布川日佐史)
- 拡大するイタリアの民間年金制度 中益陽子 日本労働研究雑誌 552 06.7
 *年金を考える 貝塚啓明, 財務省財務総合政策研究所編著 中央経済社 A5.245 06.5
 *ブレア政権の医療福祉改革 伊藤善典 ミネルヴァ書房 A5.290 06.6
77. 社会福祉政策
- 特集 暮らしの中の医療的ケア 季刊福祉労働 111 06.Summer
 ベンチレーターをつけて私らしく生きる (佐藤さきみよ) 医療的ケアの拡大と近未来の在宅医療 (川口有美子) 医療ケアと生命倫理 (中西正司) 人工呼吸器をつけた家出少年 (折田みどり)
- 特集 自立を支援するということ 月刊福祉 89-8 06.7
 今, 求められている自立支援 (京極高宣) 地域に求められる自立支援の福祉力 (杉岡直人) 若者の自立を支える“若者自立塾” (伊藤一三) 生活保護制度と自立支援 (新保美香) 障害者自立支援法と知的障害者の自立支援 (西原雄次郎)
- 福祉サービスとエンアグラム 高橋絃一 週刊社会保障 2384 06.6.5
 *育児・介護休業法のあらまし 厚生労働省/21世紀職業財団 A4.87 06.2
 *厚生労働省看護職員確保対策特別事業「訪問看護e-ラーニング」検討全国会議 日本看護協会 A4.115 06.3
 *新卒看護職員の入職後早期離職防止対策報告書 2005年 日本看護協会 A4.33 06.3
 *ふくしのしごと就職活動ハンドブック 東京都福祉人材センター A5.127 06.3
 *公助・共助・自助のちから 成蹊大学文学部学会編 風間書房 B6.258 06.5
 *人物でよむ近代日本社会福祉のあゆみ 室田保夫編著 ミネルヴァ書房 A5.260 06.5
78. 労働法
- 中学校の授業で「働くルール」 新谷 威 季刊労働行政研究 9 06.春
 労働債権回収の実務 城塚健之 季刊労働行政研究 9 06.春
 特集 働くルールの確立を 月刊全労連 114 06.7
 アメリカの「ホワイトカラー・エグゼンプション」(岡田則男) フランスの解雇規制 (福間憲三)
- 判例回顧と展望 労働法 浜村彰, 沼田雅之, 水野圭子, 宮崎由佳 法律時報 78-7 06.6月臨時増刊
 二〇〇六年男女雇用機会均等法案の内容と問題点 山田省三 労働法律旬報 1624 06.5.下旬
79. 労働判例
- 賃金・労働時間管理と法律問題(13), (15)~(20) 中川恒彦 月刊ろうさい 56-11, 57-1~57-6 05.11, 06.1
 会社解散による解雇と代表取締役の任務懈怠 大内伸哉 労働判例 913 06.7.1
 私傷病労働者の処遇における使用者の配慮義務 大山盛義 労働法律旬報 1624 06.5.上旬
 北大阪労基署長(ダイトケミックス)事件・大阪高裁判決 労働法律旬報 1626 06.6.下旬
 期末手当による減額調整の適法性 和田 肇 労働法律旬報 1625 06.6.上旬
 従業員による商法二六六条ノ三にもとづく損害賠償請求と取締役の従業員監督義務 南 健悟 労働法律旬報 1625 06.6.上旬
 労働者の行態を理由とする解雇と事前警告の法理 藤原稔弘 労働法律旬報 1625 06.6.上旬
80. 労働委員会
- *労働委員会年報 平成17年 第60集 中央労働委員会事務局 A5.326 06.8
- VI 世界労働
90. 総記
- *世界と恋するおしごと 山本敏晴編著 小学館 B6.317 06.6
91. アジア
- *人間らしく, 誇りをもって働きたい 三上禮次, 柴田繁男, 平野すすむ 自治体研究社 A5.108 06.4
93. ヨーロッパ
- 転機を迎えるイギリス労働運動 小川正浩 月刊自治研 561 06.6

99. ILO, 国際機関
国際労働規範の再生 野川 忍 労働法律旬報 1626 06.6.下旬

Ⅶ 歴史

100. 総記
* 葬られた夏 諸永裕司 朝日新聞社 A6.412 06.7
101. 生活・労働史(日本)
* 炭鉱の真実と栄光 深町純亮監修 佐谷正幸 日本会議福岡筑豊支部 A5.108 05.12
* 大阪市・府社会調査報告書 15 大正十五年(1), 18 昭和元年・二年(1),
21 昭和三年(1), 24 昭和四年(1) 近現代資料刊行会 A5.4冊 06.7
102. 生活・労働史(外国・国際)
* コリアン部落 上原善広 ミリオン出版(発売:大洋図書) B6.301 06.5
103. ジェンダー・フェミニズム・女性史(日本)
* 戦後女性労働基本文献集 第Ⅱ期 第11巻~30巻, 別冊
原ひろ子監修 藤原千賀, 武見李子編 日本図書センター A5.20冊 06.1~06.5
104. ジェンダー・フェミニズム・女性史(外国・国際)
スターリン体制下の公共性とジェンダー 松井康浩 思想 987 06.7
107. 社会・労働政策史(外国・国際)
* ナチス・ドイツの強制労働と戦後処理 田村光彰 社会評論社 A5.278 06.6
108. 労働運動史(日本)
語りつぎたいこと(44)~(46) 塩沢美代子 安全センター情報 327,329~330 06.4~06.7
112. 諸社会運動史
一九二〇年代の兵庫県水平運動と融和運動 手島一雄 研究紀要 12 06.3
地方改良運動期における神戸の部落改善運動 本郷浩二 研究紀要 12 06.3
兵庫県水平社と政治運動 関口 寛 研究紀要 12 06.3
* 農民運動家としての三宅正一 飯田 洋 新風舎 B6.178 06.4
* 新婦人協会の研究 折井美耶子, 女性の歴史研究会編著 ドメス出版 A5.302 06.5
* 差別と抵抗の現象学 郭 基煥 新泉社 A5.267 06.6
* 社会運動の昭和史 加藤哲郎他編 白順社 A5.412 06.7
* 戦後保育所づくり運動史 橋本宏子 ひとつなる書房 A5.327 06.7

◎「近現代史における日中関係の再検討」国際シンポジウムの記録
THE POSSIBILITY OF AN EAST ASIAN COMMUNITY
Rethinking the Sino-Japanese Relationship

東アジア共同体の可能性——日中関係の再検討

佐藤東洋士・李恩民編——菊判・560頁・8400円(税込)

アジアの双璧として地域統合に多大の貢献をなしうる力を備えている日本と中国は、負の遺産として残された「過去」をどのように克服していくか、東アジア共同体の構築の上での最も重要な課題に挑む!!

【報告者・執筆者】(執筆順)

黄 自進	横山宏章	邢 麗 荃	服部龍二	聞 黎明	植田渥雄
宋 志勇	大澤武司	松金公正	菅沼雲龍	大崎雄二	小崎 真
太田哲男	町田隆吉	光田明正	石 之瑜	佐藤考一	天児 慧
趙 全胜	ジョンN・ホーキンス	ギルバート・ロズマン	ケントE・カルダー		川西重忠
白西紳一郎	王 泰平	中江要介	田島高志	今西淳子	

御茶の水書房

113-0033 東京都文京区本郷5-30-20 電話03(5684)0751
ホームページhttp://www.ochanomizushobo.co.jp/